

講義名称	子どもの保健ⅠB	担当教員名	小泉 武宣
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の対象の理解 (UC) 選択必修	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMUC1115

授業のキーワード	子どもとは？愛着形成、成長・発達と成育、子どもの病気、子どもの権利条約、子ども虐待
授業の概要	母子保健の目的、健康の定義、ライフサイクルでみる子どもの捉え方、母子の精神保健、子どもの病気とその予防、子どもの権利条約と保育、子ども虐待の防止、子どもや親とのコミュニケーション。
期待される学習成果 (目標)	1. 子どもの成長・発達の理解 2. 子どもの病気とその予防についての理解 3. 子どもと親の関係性の理解と両者へのコミュニケーション能力の取得

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	母子保健の目的と子どもの捉え方	①母子保健の目的 ②ライフステージとライフサイクルでみる子どもの捉え方
2	愛着形成 (アタッチメント、心の安全基地)	①周産期は愛着の曙である ②心の安全基地
3	母親の精神保健	①女性の健康管理 ②産後うつ病など
4	妊娠のメカニズム	①精子・卵子の形成と妊娠 ②不妊の頻度
5	胎児の成長と発達 先天異常と児の受入れ	②先天異常について ③妊産婦の心身の変化
6	新生児特徴 (外界の適応)	①乳児の特徴 ②母乳育児の奨め
7	乳児期の育児の大切さ	①乳児の特徴 ②母乳育児の奨め
8	乳幼児の生理と発達	①視覚、聴覚、運動、言語、行動、こころ等の発達 ②栄養管理
9	乳幼児の健康と病気	①子どもの状態の把握 ②乳幼児によくみられる病気
10	感染症と予防接種	①乳幼児によくみられる感染症 ②ワクチンと定期・任意予防接種スケジュール
11	母子保健の主なる統計、子どもの事故	①母子保健の主なる統計 ②子どもの事故の現状と予防
12	子どもの権利条約	①子どもの権利条約とは ②守られるべき子どもの権利
13	子ども虐待	②子ども虐待の実態 ③子ども虐待の防止
14	子どもの保健必修知識と考え方	①子どもの保健必修知識 ②子どもの保健に対する考え方
15	子どもに対する理解のプレゼンとまとめ	①子どもに対する理解のショートプレゼンテーション ②子どもの保健に関する全体のまとめ

定 期 試 験	子どもと親に対する理解、子どもの保健必修知識に対するテストを記述式試験で行う。
評 価 方 法	定期試験60%、レポートのプレゼンテーション40%により総合的に評価する。
使用する教科書 (必ず購入してください)	子どもの保健 (改訂第2版) 編著：渡辺 博、中山書店
参 考 文 献	